<u> </u>		(7 DC)) B101/91/
問題番号 配点	正 答 例	採点のポイント
1 〔問 9〕 配点	A	○辺ABの垂直二等分線を引き,辺AC上 にAP=BPとなる点Pが正確に示され ている。
6 点	ВС	
2 〔問 2〕 配点 7点	四角形 A B G H C おいて、 A D $= 2\pi a$, E H $= 2\pi b$ より, A H $= A$ D $+ E$ H $= 2\pi a + 2\pi b$ $= 2\pi (a + b)$	 ○辺AHの長さが文字を用いた式で適切に表され、底面の円の半径が(a+b)cmであることが示されている。 ○式の変形ができ、適切に処理されている。 ○立体の体積について、Z-W = 2πabhが成り立つことが的確に示されている。
	=2π <i>abh</i> したがって,	
	$Z - W = 2 \pi abh$	
4 〔問2〕 ①	\triangle ABPと \triangle EDQにおいて, 仮定から, \angle ABP= \angle ADQ= 90° また, \angle EDQは \angle ADQの外角で 90° だから, \angle ABP= \angle EDQ= 90° (1)	○正しいと認められる事柄について、根拠を明確に記述し、仮定から結論を導く推論の過程が的確に示されている。
配点 7点	仮定から、AB=AD AD=ED よって、 AB=ED ·······(2) また、BP=CB-CP	
	DQ=CD-CQ 仮定から、CB=CD、CP=CQより、 BP=DQ(3)	
	その間の角がそれぞれ等しいから, $\triangle ABP \equiv \triangle EDQ$	
# 241±1-	・センナ 垣占のポイントを跡すって『草	8 /

各学校において、採点のポイントを踏まえて『部分点の基準』を作成し、『部分点の基準 ごとの点数』を定めること。

なお、受検者の実態等に応じて、次の例のように詳細な基準を定めることができる。

- ・ 「○○について××が書かれている。」のように、具体的な内容を加えること。
- ・ 「 \bigcirc ○と \triangle △が書かれている。(3点)」「 \bigcirc ○が書かれている。(2点)」「 \triangle △が書かれている。(1点)」のように、段階を設け、段階ごとの点数を設定すること。
- ・ 「誤字が一つ以上ある。(1点減点)」のように、部分点の基準を加えること。